



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL <http://www.puequ.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 采女 信二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	4,684	△0.4	198	9.1	210	3.9	155	0.5
2020年8月期第3四半期	4,701	15.5	182	73.3	202	88.9	154	136.7

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 172百万円(2.2%) 2020年8月期第3四半期 168百万円(125.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	66.16	66.13
2020年8月期第3四半期	74.00	73.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	8,657	2,760	31.9
2020年8月期	8,649	2,579	29.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 2,760百万円 2020年8月期 2,578百万円

3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2021年8月期	—	0.00	—		
2021年8月期(予想)				38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,589	7.9	298	35.8	291	14.1	182	△18.2	78.54

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3 Q	2,353,500株	2020年8月期	2,321,400株
② 期末自己株式数	2021年8月期3 Q	1,070株	2020年8月期	640株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3 Q	2,349,213株	2020年8月期3 Q	2,089,820株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大による政府の度重なる緊急事態宣言の発令によって、企業収益や個人消費が悪化するなど厳しい状況で推移しました。

国内外では段階的な経済活動の再開の動きがあるものの、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境におきまして、港湾における津波対策整備事業が活発に進んでいる背景の下、当社グループは景観配慮型防潮壁「シーウォール」の受注促進に注力しつつ、東北大学と共同研究中のオゾン装置開発に向けた対応を継続してまいりました。また、当社の主要な経営戦略に位置付けておりますM&Aによる成長を目指し、これを可能とすべく対象先ソーシング機能の充実、実行体制の強化に注力しているところです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,684百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益198百万円(前年同期比9.1%増)、経常利益210百万円(前年同期比3.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境・エネルギー事業)

港湾の津波対策事業の推進に伴う防潮壁「シーウォール」及びコロナ禍におけるオゾン装置の受注成果が寄与し売上が増加しました。また、前第2四半期連結会計期間でM&Aにより子会社化した協立電機工業株式会社の経営成績が当期首から反映され、上乘せ効果が寄与したことで順調に推移しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,653百万円(前年同期比19.1%増)、セグメント利益は118百万円(前年同期比40.7%増)となりました。

(動力・重機等事業)

プラント機器市場及び産業機械部品市場に向け、新規顧客の開拓に注力してまいりました。

なお、本事業に係る売上の約50%を占める船舶関連機器の製造受託事業について、関連市況が前期好調に推移しておりました一方、当期はその反動を受けて低調な推移となっております。

その結果、船舶用エンジン台板の製造受託受注量が減少し売上高も減少しました。

なお、その他の動力・重機関連機器におきましては、新規で複数の大型案件を受注し、順次、売上に計上してきたことが船舶機器に係る低調さを下支えし、利益の増加に寄与しました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,680百万円(前年同期比10.3%減)、セグメント利益は151百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

(防災・安全事業)

新規の消防設備工事の受注獲得に向けた営業活動を展開してまいりましたが、病院や介護福祉施設からの消防設備工事に係る需要が低調でありました。

このような状況を踏まえて、リモートで営業展開を推進することにより、出張経費の削減等につなげてまいりましたが、収益減少の影響までカバーできず低調な推移となりました。

以上の結果、防災・安全事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は350百万円(前年同期比41.6%減)、セグメント利益29百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,657百万円(前連結会計年度末は8,649百万円)となり、8百万円増加しました。流動資産は4,536百万円(前連結会計年度末は4,698百万円)となり、161百万円減少しました。これは主に、電子記録債権の増加103百万円があった一方、受取手形及び売掛金の減少70百万円、商品及び製品の減少75百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は4,120百万円(前連結会計年度末は3,951百万円)となり、169百万円増加しました。これは主に、土地の増加30百万円、投資有価証券の増加84百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,896百万円(前連結会計年度末は6,070百万円)となり、173百万円減少しました。流動負債は3,031百万円(前連結会計年度末は3,324百万円)となり、292百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少75百万円、短期借入金金の減少115百万円等によるものであります。

固定負債は2,865百万円（前連結会計年度末は2,745百万円）となり、119百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加125百万円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,760百万円（前連結会計年度末は2,579百万円）となり、181百万円増加しました。これは主に、新株予約権の行使による資本金の増加49百万円及び資本剰余金の増加49百万円、利益剰余金の増加67百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月14日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました2021年8月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,250,258	2,292,090
受取手形及び売掛金	1,396,612	1,325,614
電子記録債権	143,404	247,258
商品及び製品	112,564	36,874
仕掛品	380,566	316,266
原材料及び貯蔵品	30,099	37,086
その他	393,828	290,839
貸倒引当金	△9,172	△9,071
流動資産合計	4,698,163	4,536,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	789,667	795,691
土地	1,996,853	2,027,353
その他（純額）	441,759	438,265
有形固定資産合計	3,228,281	3,261,310
無形固定資産		
のれん	7,606	6,954
その他	7,138	6,072
無形固定資産合計	14,744	13,026
投資その他の資産		
投資有価証券	203,703	288,095
その他	507,412	567,738
貸倒引当金	△2,939	△9,756
投資その他の資産合計	708,175	846,077
固定資産合計	3,951,201	4,120,414
資産合計	8,649,364	8,657,372
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	341,581	266,169
短期借入金	1,670,000	1,555,000
1年内返済予定の長期借入金	948,335	876,102
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	75,350	29,966
賞与引当金	24,557	63,151
その他	244,471	241,057
流動負債合計	3,324,295	3,031,446
固定負債		
長期借入金	2,451,037	2,577,014
役員退職慰労引当金	19,105	20,092
退職給付に係る負債	140,665	143,944
その他	135,133	124,386
固定負債合計	2,745,941	2,865,436
負債合計	6,070,236	5,896,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,013,297	1,062,420
資本剰余金	870,997	920,120
利益剰余金	709,595	776,831
自己株式	△138	△231
株主資本合計	2,593,752	2,759,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,647	1,347
その他の包括利益累計額合計	△15,647	1,347
新株予約権	1,023	—
純資産合計	2,579,128	2,760,488
負債純資産合計	8,649,364	8,657,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	4,701,945	4,684,449
売上原価	3,764,212	3,740,679
売上総利益	937,733	943,769
販売費及び一般管理費	755,371	744,877
営業利益	182,362	198,891
営業外収益		
受取利息	658	95
受取配当金	4,362	656
投資有価証券売却益	30,193	299
保険解約返戻金	17,097	792
固定資産賃貸料	12,710	11,849
補助金収入	1,000	10,204
その他	19,378	23,045
営業外収益合計	85,400	46,941
営業外費用		
支払利息	24,032	21,133
投資有価証券評価損	23,861	5,588
株式交付費	1,032	779
その他	16,502	8,083
営業外費用合計	65,428	35,585
経常利益	202,333	210,248
特別利益		
固定資産売却益	284	2,077
負ののれん発生益	24,310	—
固定資産受贈益	—	24,888
特別利益合計	24,595	26,966
特別損失		
固定資産除却損	972	480
特別損失合計	972	480
税金等調整前四半期純利益	225,957	236,734
法人税等	71,315	81,308
四半期純利益	154,641	155,425
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,641	155,425

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	154,641	155,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,102	16,995
その他の包括利益合計	14,102	16,995
四半期包括利益	168,744	172,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,744	172,420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い新株式32,100株の発行を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ49,122千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,062,420千円、資本準備金が920,120千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,227,260	1,874,180	600,505	4,701,945	—	4,701,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	620	—	—	620	△620	—
計	2,227,880	1,874,180	600,505	4,702,565	△620	4,701,945
セグメント利益	83,860	149,107	37,134	270,101	△87,740	182,362

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△481
全社費用※	△87,258
合計	△87,740

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第3四半期連結累計期間より協立電機工業株式会社の株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は24,310千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,653,096	1,680,734	350,618	4,684,449	—	4,684,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,980	—	—	3,980	△3,980	—
計	2,657,076	1,680,734	350,618	4,688,429	△3,980	4,684,449
セグメント利益	118,007	151,558	29,064	298,630	△99,738	198,891

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	金額
セグメント間取引消去	△86
全社費用※	△99,651
合計	△99,738

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。